

# 海蔵地区同推協だより

№2

平成5年3月25日発行

## 同和人権アンケート調査の中間報告

昨秋、皆様にご協力いただきましたアンケートの集計が、このほど完了しました。忌憚のない、意識調査のためと、今後の啓発のため行ったものです。詳しい分析や考察は、次年度の課題と考えておりますが、今回は主な項目の基本集計の結果のみ、報告させていただきます。（設問は簡略化してあります。）

回収率：77.5%、 配付数3,679枚、 回収数 2,853枚、 有効回答数 2,799枚、

回答者：(性別) 男 40.2% 女 59.8%  
 (年齢) 20才以下 0.9% 20才代 7.7% 30才代 17.6% 40才代 25.3%  
 50才代 24.1% 60才代 15.6% 70才代 8.7%  
 (続柄) 世帯主 42.7% 配偶者 43.4% 家族全員 5.0% その他 8.9%

### (1) 人権意識

問1. 人生の幸せについて



甲の意見 人生は競争であり、他人をおしのけてでも勝たないと幸せは得られない.....4.6%  
 乙の意見 他人に対する思いやりを失わないことが幸せにつながる.....84.2%  
 どちらとも言えない、わからない.....11.2%

問2. 子供の勉強.....母親が、子供に「あなたもしっかり勉強しないとお父さんのように汚れた職場で働かねばならないことになりますよ」と言って叱っている。

甲の意見 子供を励ますために言ったのであり、問題は無い.....8.0%  
 乙の意見 どんな職業でも、私たちの暮らしに欠かせない仕事であり、見下した言い方は許せない.....81.5%  
 どちらとも言えない、わからない.....10.5%

問3. 公共施設.....ある公共施設で身体の不自由な人のために、数千万円をかけて施設の改善をした。

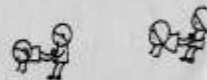
甲の意見 数少ない人のために、それだけの費用を使うのは不経済だし、かえって不平等を感じる.....5.2%  
 乙の意見 障害を持つ人も持たない人と同じように施設を利用できるように費用のことは問題にしないで、公共施設をつくる必要がある.....82.7%  
 どちらとも言えない、わからない.....12.1%

問4. 男女の昇給.....企業によっては、男女によって、定年や賃金に違いがあります。

甲の意見 男と女では、生理的にも能力的にも違いがあるのだから、差があるのは当然.....26.3%  
 乙の意見 個人の能力や業績を考慮せず、ただ女というだけで差があるのはおかしい.....61.3%  
 どちらとも言えない、わからない.....12.4%

### (2) 方位、六曜

問6. あなたは、冠婚葬祭に際して、方位や六曜(大安、仏滅等)などを気にする方ですか。



気にする、どちらかといえば気にする.....61.2% あまり気にしない、全く気にしない.....29.8%  
 どちらでもない.....9.0%

### (3) 同和問題の認識

問7. あなたは、日本の社会に「同和地区」や「被差別部落」などとよばれ、差別をうけている地域があることを知っていますか。

知っている.....57.1% 少し知っている.....32.7% 知らない.....10.2%

問9. 被差別部落が生まれたのはなぜだと思いますか。(上位3位まで)



①政治的につくられた—39.3% ②わからない—24.5% ③特定の職業を持った人の集落—17.0%

問10. 現在でも、就職や結婚について、部落差別があると思いますか。

①就職について 差別がある—39.9% 差別はない—32.9% わからない—27.2%  
②結婚について 差別がある—66.6% 差別はない—13.4% わからない—20.1%

問11. 同和問題に関するあなたの考え方は次のうちどれに近いでしょうか。(上位3位まで)

①自分も解決に努力したい—24.3% ②余りふれられないほうがよい—20.9%  
③国や行政が解決する問題である—19.2%



(4) 結婚意識 (恋愛や結婚についておたずねします。)

問13. (1)もしあなたのおさんが同和地区出身のひとと恋愛し結婚まで話が進んでいるとしたらあなたはどうしますか。(上位3位まで)

①わからない—40.3% ②いい人なら賛成——27.0% ③反対だが、仕方がない—14.9%

(2)もしあなたが同和地区出身のひとと恋愛し、結婚しようとした時、親や親戚から強い反対を受けたとしたらあなたは  
どうしますか。(上位3位まで)

①わからない—52.8% ②意志を貫き結婚する—19.6% ③親を説得する——16.1%

(5) 『障害』児教育への理解

問17. 障害を持つ子どもに対する教育についてあなたはどのように思いますか。(上位3位まで)

①養護学校がよい—49.6% ②子供や親の意志を尊重する—26.1% ③条件整備を急ぐ—17.7%  
(普通学校で学べるように)

(6) 外国人差別

問18. 最近、朝鮮初中級学校と、校区の小中学校との間に交流がすすめられており、地区としても交流を深めていきたいと思  
いますが、あなたのご意見は、

良いと思う——86.6% 必要ない——2.4% わからない・その他——11.0%

(7) 同和問題の解決に向けて

問19. 同和問題を解決するにはどうしたらよいと思いますか。(上位3位まで)

①他地区との差がでないようにする——19.4% ②差別されないように努力する——17.2%  
③啓発・教育活動をする。——13.6%

(8) 学習機会について

問20. あなたは、同和問題や人権問題についての講演会などに参加したことがありますか。

ア. 1~2回参加した——22.6% イ. 3~4回参加した——6.5% ウ. 5回以上——4.9%  
エ. 参加無し——66.0%

(9) 同和協への要望

問21. あなたが特に理解を深めたいとお考えの問題は何ですか。

①高齢化問題—30.2% ②教育問題—28.8% ③『障害』者問題—15.2% ④部落差別問題—8.3%  
⑤朝鮮・韓国人問題——7.3% ⑥女性差別——3.7% ⑦その他—6.5%



以上、問14~16の記述回答や各問のその他( )として書いていただいたものを除いて、主な設問の基本集計の結果のみ  
を拾い上げてみました。これらの結果だけでも、随分いろいろな問題を見つけることが出来るものと思います。  
ご熟読の上、ご意見、ご質問等あれば、ぜひ承りたいと思いますので、4月末までに、同和協事務局(海蔵地区市民セナ)  
まで、お寄せ下さい。(形式、用紙等は一切問いません。メモ程度のもので結構です。)

(お詫びと訂正) 昨年12月21日発行の同和協だより№1の人権ポスター入選者の氏名の中に、「ポスターの部 6年生  
小川 明」とあるのは誤りで「小川 明子」さんが正しいお名前です。謹んで、訂正させていただきます。